

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 1日

事業所名 きらり中庄 ひかり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○	・療育と食事は別別にしたい。 ・クラス以外に前庭や屋外、倉敷学園のスペースなども活用している。	部屋に限りがあるため、工夫をしながら支援を行っていきます。
	2	職員の配置数は適切である	○		・クラスでみると潤っているようにみえるが、発作があったりマンツーマン対応が必要だったり負担があることがある。 ・専門職がそれぞれの強みを活かして支援を行なっている。1対1での介助や支援を必要とするお子さんが多く、職員の休みが重なる時などは、きめ細かい支援が出来にくいことがある。	配置上は決められた人数以上の配置とはなっています。重心の事業所ということもあり、個別での関わりが多く求められることありますが、職員間で協力しながら取り組んでいきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	自由遊びと、活動や食事の空間を、出来るだけ区別するようにしている。平時には問題ないが、緊急時に垂直避難を行う際には階段しかない為、日頃の訓練で課題や対応策について話し合っている。	建物の構造上、事業所としては現在の方法(ベルカの使用)で垂直避難を行っています。今後、法人全体の課題としていきたいと思えます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		敷物を剥がしたり、貼ったりでスペース作れないようです。	限られたスペースの中で工夫しながら取り組んでいきたいと思えます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日、その日の利用児さんの様子や支援内容について振り返りを行なっているが、業務内容についても併せて話し合っている。	引き続き、振り返り等を行いながら運営していきたいと思えます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		事業所評価のアンケートをとり、結果と対応について公表している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		専門職がそれぞれの視点で意見を出し合い、支援計画を作成している。	それぞれの職種が専門性を発揮しながら意見を出して取り組んでいます。引き続き会議を持ちながら取りくみます。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		提供すべき支援が、本人支援であるように。保護者の要望が強いときもあるので課題と思えない。	普段のご利用児さんの様子や保護者の方の思いも食い取りながら支援内容を精査していきたいと思います。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画に沿った内容で連絡帳を作成している。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月案や週案を交代で作成しているが、案が出来たら多職種で話し合い内容を詰めている	クラス全体で話をしながらプログラムを組み立てていきたいと思えます。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・定期的に現場職員で考える時間を設ける、意見を唱えることを恐れない、固定化を防ぐのは難しさを感じないわけではない。 ・多事業所との交流や、SNSなども参考にして、活動内容に変化をつけられるように工夫している。	事業所の中の取り組み以外にも様々な情報を活用しながら、今のご利用児さんに最適な活動を計画していきたいと思えます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	○		活動は毎日集団で実施しているが、午前中がメインでその他の時間は個別での活動を行なっている。この環境の中で子どもの状況に合わせた支援計画を作成している。	お子さんの姿に合わせた活動内容を引き続き提供していくことが出来るように努めます。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		精通者はしかり、育成の為に、担当も出席できる体制作りの構築は必要であろうと思わないわけではない。	個別に担当職員を決めているため、基本的にはその職員が参加できるようにしています。状況に応じて、複数の職員が参加していくようにしています。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		定期的に連絡をとる部分と、必要に応じて連絡しているものがあるが、必要となればすぐに連絡できる体制がある。	適宜主治医や相談支援専門員と情報共有をしながら、安全に過ごしていただけるようにしています。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		相互理解は難しさを感じないわけではない。	今後、年度末には移行支援として支援学校へ情報共有をしていきたいと思っています。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		他のとは、どこなのでしょうか？なんの助言なのでしょう？	今後、必要に応じて児童発達支援センターや児童発達支援事業所の職員間での勉強会等に取り組んでいければと思います。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	敷地内の保育園とは行事と一緒に参加している。法人外での交流の機会はほとんどない。	敷地内の保育園とは大きな行事等での関りを引き続き持っていきたいと思います。地域の園等とは、可能な限り出来る方法を模索していきたいと思っています。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		開催の案内があれば参加しています。回数としては少ないのが現状です。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		希望者が参加できる形で実施している	引き続き、発信をしていきたいと思えます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		企画をしているが、参加率を上げる工夫が難しい	きりり中庄として保護者会はありませんが、茶話会等を企画しています。保護者の方に参加したいと思って頂けるような内容を今後も検討していきたいと思えます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		課題でないと思われなわけでない。	マニュアルについては、整備はしていますが、全てを保護者の方には周知出来ていませんでしたので、冊子を靴箱に設置します。訓練は毎月実施しており、つうしんにてお伝えしています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		緊急時にもすぐに対応出来るよう、その日の利用児のケースファイルをクラスに移動し、緊急時対応の読み合わせを毎日行っている。	読み合わせ以外にも必要に応じてデモンストレーションを行っていきたいと思います。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。